JICA 海外協力隊

れな（ガーナ）＆もも（ルワンダ）のアフリカ日記



氏　名／横谷 怜奈（れな）さん（千葉県出身）
滞在地／ガーナ共和国



五城目の皆さま、ご無沙汰しております。

昨年６月から約２か月半、JICA海外協力隊の派遣前プログラムでお世話になりました横谷怜奈です。広報紙を通して、再び五城目の皆さまとつながる機会を頂き、大変嬉しく思います。

私は昨年12月にウガンダへ赴任し、首都カンパラから車で約７時間のリラ市にあるNGOに配属され、住民への健康教育やクリニックのデータ分析に取り組んでいました。しかし、今年５月、エボラ出血熱の発生に伴い日本へ退避することとなり、９月から西アフリカのガーナに赴任しています。現在は、首都アクラから車で約５時間のアサンテ・アキム・ノース郡保健局に配属され、生活環境を整えながら、今後の活動に向けて準備を進めています。


ウガンダでの手洗い教育の様子

五城目の皆さまとの別れのように、ウガンダを離れた寂しさはありますが、新たな土地での出会いや経験を前向きに捉え、頑張ります。これからも温かく見守っていただけると幸いです。

集落支援員のつながるGojome!（ごじょうめ）

皆さま、お久しぶりです。集落支援員の伊藤です。この秋、皆様はどう過ごされたでしょうか？

「食欲の秋」「芸術の秋」「読書の秋」「実りの秋」等々さまざまですが、わたしの場合は収穫の秋でした。

さて、9月12日に「第13回あきた元気ムラ大交流会」という県内各地の取組み紹介や、名物郷土料理の試食、住民同士の交流などができるイベントに参加してきました。今回は、能代市二ツ井町と、三種町下岩川の先進事例のうち、二ツ井町の「梅内聚落（うめないしゅうらく）」についてお話ししたいと思います。

「梅内聚落」は人口323人、156世帯と本当に小さな集落ですが、薪、木質チップ、木工品、山菜の販売など、環境に優しい取り組みとして、令和７年には総務大臣賞、環境大臣賞を受賞されています。

「このままだと40年後には消滅します」と宣告された限界集落ですが、町民の皆さんご自身が「梅内にはいいものがたくさんある」と誇りを感じながら実績を上げています。


あきた元気ムラ大交流会の様子

合言葉は、①みんなで楽しく②みんなで協同作業③目標や希望を持つ、のようです。私は、ただただ感銘を受けました。

午後からは試食交流会で地域の料理を堪能しながら、「これからの地域の姿」について語り合いました。考えさせられることが多い有意義な交流会でした。


各地域の料理を堪能

集落支援員とは？　地方自治体から委嘱を受けて集落の維持・活性化を支援しています。

五城目で見つけた、うれしいこと

アリの五城目便り ⑬



トリニダード・トバゴ出身。
2026年8月7日から、町の外国語指導助手（ALT）に着任しました。

Ali Irfaan（アリ イリファーン）

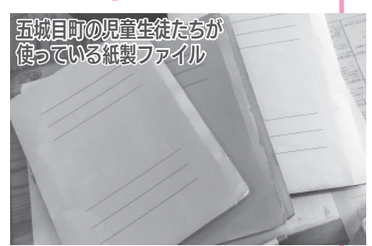
Hello Gojome,
After teaching at the Junior High School for a few weeks, I noticed something that makes me very happy. Students in this town use paper folders instead of plastic folders.
This small choice helps support the SDGs and is better for the environment. It may look like a simple change, but over the years it means thousands of paper folders are used instead of plastic ones. This makes a real difference.
I am proud to be part of a school that cares about the environment and supports the SDGs in this way.

ハロー五城目！

五城目第一中学校で教え始めて数週間が経ち、嬉しいことがありました。五城目町の児童生徒たちは、プラスチック製ではなく、紙製のファイルを使っています。

一見すると小さな選択に思えるかもしれませんが、このような取り組みが何年も積み重なることで、何千枚ものプラスチック製ファイルが紙製のものに置き換わることになります。これは、環境を守り、SDGsの達成につながる大切な取り組みだと思います。

環境を大切にし、こうした形でSDGsに取り組んでいる学校の一員であることを、私は誇りに思います。


五城目町の児童生徒たちが使っている紙製ファイル

五高NEWS（ニュース）

高校ホームページはQRコードからご覧いただけます


菅原さんの受賞作品「鶏団子と彩り野菜のしょっつる炒め」

１１月の予定

11日㈬　地方財政教育プログラム（3年生）
　　あきたの企業魅力発見ラーニング（1年生）
11日㈬～14日㈯　修学旅行（２年生）
18日㈬　生徒会役員選挙
19日㈭　主権者教育講座（２年生）

9月26日に開催されたJAF主催「第一回噛むほど元気！高校生咀嚼レシピコンクール」２次審査に、3年生活福祉コースの菅原彩さんが進出し、調理、料理の説明、審査を経て、見事優秀賞を受賞しました。受賞作品は今後株式会社マルダイにおいて商品化の予定です。


優秀賞受賞者の菅原彩さん

□□□□（3年・生活福祉コース）

とても時間をかけ、何回も試作したレシピで良い賞をいただけて嬉しかったです。同じコースの仲間たちや先生方にも試食やアドバイスなどの協力をしてもらい、支えていただいたおかげで受賞できたことを誇りに思います。

今後も周りの方々への感謝を忘れず、さらに経験を積んでいきたいです。

9月16日に本校の1、２年生と八郎潟中学校の１年生が、八郎潟B&G海洋センターで「防災教室」に参加しました。当日は、五城目警察署の方々の指導を受けながら、大雨冠水時の避難方法について確認しました。


スニーカーを身に着けての洪水体験

□□□□（２年）

水圧がすごくかかり、杖も動かしづらく、洪水が起こる前に避難したり、垂直に避難したりすることを促す理由が分かりました。自分の周りで洪水が起こったら、家族や周囲の人々に避難を促したいと思いました。

今後の生活で、洪水の被害に遭わないようにハザードマップの確認などをしていきたいです。